

# 平成29年度 事業報告

## 主な事業概要について

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年7月、九州北部豪雨では記録的な降水となりました。次々と積乱雲が発生し、発達しながら移動して線状降水帯が形成されました。この影響で局地的に長時間にわたり、気象観測史上で最大級の集中豪雨となりました。

岐阜県内でも、8月、瑞浪市において雨の影響で中央自動車道へ土砂が流入し通行止めの災害が発生しました。各地の災害により地域の社会・経済には大きな影響がありましたが、有事の際における建設業の迅速かつ的確な対応と、昼夜を問わない決死の作業により、被害を最小限に抑えることが出来ました。

当協会は、地元建設業への若年層入職促進による担い手確保のために平成13年度から建設産業系の学生を対象にした建設技術講習会を継続しており、今年度も岐阜農林、恵那農業、大垣工業の3校の各高等学校にて実施しました。協会設立記念日には技術発表会を開催し、各技術委員会より日々の研究成果を発表することで、効率的かつ有効な手段の提案・提言を行う公益機関としての役割を再認識する機会としました。

5月には、ICT土工見学会を（公財）岐阜県建設研究センターと共同開催し、発注者を含む多数の方に参加して頂きました。より魅力的な産業への変革を期待し、今後も研究を継続していきます。

岐阜社会基盤研究所での活動は、9月の研究発表会にて、『ICT活用工事（ICT土工）導入研究業務について』と、ダム技術委員会により『砂防堰堤およびダム工事の現状』と題して発表を行い、1月の自由討論会では、トンネル技術委員会より『トンネルの長寿命化』の発表をし、産官学の共同研究を通じて、他分野のノウハウや知識収集、人脈の形成、技術力向上に繋がるよう努めました。

### トンネル技術委員会

#### 1. 活動方針

トンネルの維持修繕や環境問題及び新工法に関して調査研究を行い、県内業者の技術力向上を図る事と、適正工法の研究等を行う事で、トンネル施工のより質の高い社会資本整備・公共福祉の増進に寄与する事を目的としました。

## 2. 活動内容

県内業者の技術力向上の為に、以下のような活動を行いました。

### I. 技術発表会（当協会主催）への参加

昨年より取り組み始めた『トンネルの長寿命化』について、トンネルに不具合がおきる要因を分析するため、点検資料を活用して岐阜県のトンネル劣化の現状等を発表しました。

### II. 建設技術講習会への参加

岐阜県立岐阜農林高等学校 環境科学科 2年生39名を対象に『社会基盤を支えるトンネル技術者』というテーマで講習を行いました。

### III. 岐阜社会基盤研究所 自由討論会及び報告会への参加

岐阜大学で開催された岐阜社会基盤研究所の自由討論会に参加し、『トンネルの長寿命化』についての取り組みを報告しました。

## ダム技術委員会

### 1. 活動方針

ダム工事及び砂防堰堤工事に関する新技術・新工法・環境対策等の調査研究活動の実施、既存堰堤の維持、管理のあり方について、調査研究し会員相互の技術力向上を図る事を目的としました。

### 2. 活動内容

#### I. 現場見学会の開催

ダム工事における新技術等の情報収集のため、内ヶ谷ダムにおいて現場見学会を実施しました。

#### II. 技術発表会（当協会主催）への参加

「砂防堰堤及びダム工事の現状」というテーマで、砂防堰堤とダム工事に関する施工事例について発表しました。

### Ⅲ. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

平成29年9月14日に岐阜大学サテライトキャンパスにおいて開催された研究発表会へ参加しました。

### Ⅳ. 建設技術講習会への参加

岐阜農林高等学校 環境科学科2年生39名を対象に『環境にやさしいダム造り』というテーマで講習を行いました。

## 下水道技術委員会

### 1. 活動方針

近年、下水道施設の劣化が進み、耐震対策及び維持・修繕（更生）の課題が多い中、新技術等を採用した施工が県内企業にて出来るよう考案・研究し、技術力の向上を目的としました。

### 2. 活動内容

#### Ⅰ. 下水道の維持・修繕（更生）工事に関する施工方法の検討

管更生工法や各施設の修繕方法の情報収集を行い、新技術を研究し、技術力の向上を目指しました。

#### Ⅱ. 自然災害に対応した、下水道の検討

県内企業で出来る新技術（製品）の施工習得のため、情報収集を行い、研究し各委員の技術力向上を目指しました。

#### Ⅲ. 施工・製品の新技术の開拓

各講習会や展示会などに各委員が積極的に参加・取り組みを行い、有益な情報を取得し、研究テーマに活かしました。また、研究テーマの施工中である現場見学を行い、実際の施工方法や現場の作業員の声を聴き資料収集を行い、今後の研究に活用しました。

#### Ⅳ. 建設技術講習会への参加

大垣工業高等学校 建設工学科 2年生24名を対象に、『子孫に残そう美しい環境』というテーマでわかりやすく動画をまじえ講習を行いました。

V. 技術発表会（当協会主催）への参加

『下水道管の再構築(管更生工法)』の発表を行いました。

VI. 岐阜社会基盤研究所の研究

岐阜社会基盤研究所の研究として、市町村へのアンケートを実施し集計し、検討しました。

## 橋梁技術委員会

### 1. 活動方針

県内建設企業の技術力向上を目指すと共に、会員相互のコミュニケーションをはかり、情報交換を密にして、発注者に対して技術力をアピールし、地域への貢献につながるように活動しています。また、「環境共生型簡易縦坑掘削システム」の実用化に向けて検討する活動をしました。

### 2. 活動内容

#### I. 環境共生型簡易縦坑掘削システムの実用化

昨年度までに実施した試験施工の結果を踏まえ、より効率的で現場に即したシステムの構築を実現するため、深礎工の施工会社によるシステムの運用試験を行いました。

#### II. 建設技術講習会への参加

大垣工業高等学校 建設工学科 2年生土木選択学生 24名対象で、『橋梁とは！？』というテーマで講習を行いました。

#### III. 技術発表会（当協会主催）への参加

『小規模橋梁の点検修繕について』と『環境共生型簡易立坑掘削システム』について発表を行いました。

#### IV. MEを活用した小規模橋梁等の点検・修繕業務について

各委員の技術力の向上を目指し、勉強会として岐阜大学のインフラミュージアムの見学会を実施しました。

## 自然共生技術委員会

### 1. 活動方針

建設工事と自然との関わりについて調査研究をおこない、自然共生に関する知識や技術の向上を目的として活動をおこないました。

### 2. 活動内容

#### I. 環境に配慮した川づくりに関する調査・研究

災害復旧事業で多自然川づくりにおけるコンクリート護岸工事に取り組む際のガイドラインとして国土交通省より平成26年3月に改定された「美しい山河を守る災害復旧基本方針」に対応した製品や事例の調査・研究の取りまとめをおこないました。

平成29年6月5日には、この基本方針に対応した護岸ブロックを採用した鳥羽川の完成工事現場において経年変化・植生状況の調査をしました。

#### II. 概念「グリーンインフラストラクチャー」の考え方の理解

平成27年に国の施策に位置付けられた自然の持つ多様な機能を積極的に活用した社会資本整備や土地利用、管理の概念「グリーンインフラストラクチャー」の考え方を理解し、自然共生の視点から研究に取り組みました。

平成29年11月7日には、本巢郡北方町の糸貫川清流平和公園にて昭和造園土木 三浦顧問さんより産官学の関係者で検討し、完成した現場で施工会社側の立場として提案した内容の説明を受けました。

#### III. 技術発表会（当協会主催）への参加

3年に亘り活動した『環境に配慮した川づくりに関する調査研究』の総括を発表しました。

#### IV. 建設技術講習会への参加

岐阜県立恵那農業高等学校 環境科学科1・2年生67名を対象に、『地域を守る建設業～防災と豊かな自然との共生のために～』というテーマで講習を行いました。高校生に対しわかりやすく、建設業

が地域の安全や環境を守るために大いに活躍し、大切なやりがいのある仕事であることを強調して、建設業という進路を積極的に検討するべく講習を行ってまいりました。

## 安全・環境委員会

### 1. 活動方針

社会基盤整備・維持管理の担い手として、労働安全・環境の改善策の提案・指導、意識の向上及び自然環境問題への対応・改善を目的に活動致しました。

### 2. 活動内容

#### I. 安全環境パトロールを実施

安全対策、省資源・省エネルギーへの取り組み、環境汚染の防止対策、自然環境への取り組み等をチェックシートに基づき指導・改善を行いました。

#### II. 合同安全講習会に参加

労働災害の防止についての研修を行いました。

#### III. 各種環境フォーラム等への参加

びわ湖環境ビジネスメッセ2017及び建設技術フェア2017 in 中部への研修会を実施し、安全・環境対策の知識向上を図りました。

#### IV. 建設技術講習会への参加

岐阜県立恵那農業高等学校 環境科学科1・2年生67名を対象に『現場における安全と環境に対する取組み』というテーマで、講習を行いました。

#### V. 技術発表会（当協会主催）への参加

『現場における安全と環境に対する取組み』の発表を行いました。

## VI. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

各構成団体が行った研究成果にて知識の向上を図りました。

## 企画広報委員会

### 1. 活動方針

各委員会における研究・開発の成果を研修会等の企画・開催をすることにより建設産業の役割、地域の基盤整備に貢献・社会のニーズに応えるべく活動をしてまいりました。

また、公益法人としての事業目的の一つとして「学校関係者及び生徒に建設技術の素晴らしさを広く学ぶ機会を創出する」ことの趣旨に則り、各委員会から建設系学校に講師を派遣し、建設技術講習会の開催をしました。

### 2. 活動内容

#### I. 技術発表会（当協会主催）への参加

平成29年8月29日にサンレイラ岐阜において開催された技術発表会へ参加しました。

#### II. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

平成29年9月14日に岐阜大学サテライトキャンパスにおいて開催された研究発表会へ参加しました。

#### III. 見学会（（公財）岐阜県建設研究センター共催）への参加

平成29年5月30日に、岐阜市西部コミュニティセンターにおいて開催されたICT土工試行見学会へ参加しました。

（現地見学（仮称）伊自良川橋下部工工事現場）

#### IV. 建設技術講習会の開催

1) 平成29年9月20日、岐阜農林高等学校 環境科学科2年生  
39名対象に講習会を開催しました。

講義は、トンネル技術・ダム技術委員会にて実施しました。

- 2) 平成29年11月9日、恵那農業高等学校 環境科学科1・2年生67名対象に講習会を開催しました。  
講義は、自然共生技術・安全環境委員会にて実施しました。
- 3) 平成30年1月26日、大垣工業高等学校 建設工学科土木選択2年生24名対象に講習会を開催しました。  
講義は、下水道技術・橋梁技術委員会にて実施しました。
- 4) 本講義前に「建設業のしくみ」と題し、実社会での【土木工事・建築工事】、【公共工事・民間工事】等の分類説明、また【発注機関・設計会社・施工会社】の係わりを分かり易い言葉で説明しました。

#### V. 広報活動の実施

各委員会の活動・研究成果などを一般の方々へ広く知っていただくために、パンフレットの作成・自前のホームページの運用を通じ広報活動に努めました。